

まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

学内で取り組む温暖化対策

省エネ・リサイクルから屋上緑化まで多彩

品川区では平成13年9月、環境の国際規格である「ISO14001」を認証取得しました。この手法を活かして学校向けに作ったものが「しながわ版学校ISO」認定制度です。この制度は、地球温暖化など環境問題の解決に向けて、将来を担う子どもたちの環境意識の向上と実践を図るために設けられたものです。

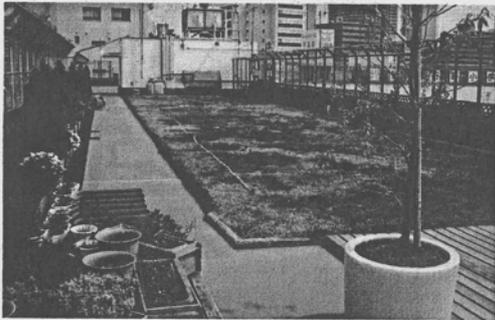
では、当地区および周辺の小・中学校では具体的にどのような取り組みが行われているか、以下、紹介します。

【荏原第一中学校】

生徒は市民科の授業の中で、地球全体がかかえている諸問題が人体や自然界に及ぼす影響を学んでいます。さらに、その原因を調べて、自分たちでできる範囲のことは自ら実践しようと全校に呼びかけ、生徒会が中心になって環境改善に取り組んでいます。

【小山台小学校】

生徒たちは、冷暖房の温度設定



屋上に芝生が青々と茂る第四日野小学校

や照明のスイッチをこまめに点検して節約に努めています。また、水や紙のリサイクルを考えて、毎日チェックシートを使って確認しています。

【後地小学校】

全校あげて行動目標を決め「取り組み宣言」を作成。さらに毎月「うしろじ版ISO環境週間」を設け、資源節約、節水、給食、照明スイッチ、環境美化など重点項目に取り組んでいます。さらに学級ごとに成果や反省点を実践チェックカードに記入しています。

【第四日野小学校】

5・6年生が中心に取り組んでいる校舎の屋上緑化がユニーク。ヒートアイランド現象の緩和とエネルギー消費量の減少策のため、芝生が青々と茂っています。計測器によって気温が常時記録されており、芝生とコンクリート部分の温度差は10度以上に。また、緑化された真下の教室と他の教室との温度差が2・3度あることも確認。このような実践教育を通して、生徒が環境問題に関心を持ち行動する力が育まれば、としています。

【平塚小学校】

児童委員会が呼びかけて節電・節水・環境美化のポスターを製作。節電は教職員、節水は保健給食委員会、環境美化は環境体育委員会がそれぞれリーダーシップをとって実践しています。2・7・12月には「ISO週間」を設けて担当委員が校舎内を回ってチェックし、成果を朝礼時に発表しています。また、再生紙用ボックスのほかにミックスペーパー入れを追加して、細かな紙くずでも再生資源として

活用しています。

【小山小学校】

「しながわ版学校ISO」に基づいて行動項目を決め「電気節約」「水の節約」「紙を大切に」「給食を残さず」「学校と周辺の環境美化」に取り組んでいます。各家庭の日常生活のなかでも省エネ・資源節約のチェックリストを作成し、一体となって環境問題の改善に向けて実践しています。

【荏原第六中学校】

生徒会の各委員会が中心となつて、自らの意識の向上と環境問題の解決に向け、行動目標を掲げて具体的な取り組みを行っています。学期終了時にその成果をチェック

して課題事項を確認しあい、より良い結果が得られるよう改善策を話し合っ実践しています。

【京陽小学校】

本年度のISO取組みの重点項目として、①紙類分別・再利用の徹底、②不燃物の分別徹底、③危険物の除去・安全管理、④太陽光・風力発電の活用、を掲げています。とくに、自然エネルギー発電設備は「グリーン電力基金」からの助成を受けて平成19年8月に設置されたもので、池のポンプ起動や体育館渡り廊下の蛍光灯の電源として利用しています。今後は各種バッテリーの充電や、理科の電気関係の授業に利用する、など拡大していくそうです。

おやじの会 力仕事をしつかりサポート

平小おやじの会 校内行事で大活躍

最近、地域の中で話題になっている「おやじの会」というのを存知ですか。ふだん、仕事の関係で学校行事やPTA行事などに参加できないお父さんを中心にした自主的な支援団体です。

平塚小学校に「平小おやじの会」が発足したのは平成18年のこと。会員数は現在20人を上回っているといえます。

具体的な活動の内容は、運動会の会場でのテント張りなど会場設営や荷物の搬入、後片づけなど力仕事を中心に警備までと活躍の場は広い。

このほか、年間行事にあわせて餅つきをサポートや自転車教室で

のデモンストレーター役など男性向きの仕事になれば「おやじ」の出番ということになります。

いずれにしても、ふだん接する機会の少ないお父さんにとって、子どもたちの活動を微力ながら支援できることは大きな喜びを感じるという。子どもたちの笑顔のためにも「平小おやじの会」の今後の発展を期待したいですね。

「平小おやじの会」では、体力が必要な行事の時に応援ができる会員を募集しています。会費やノルマはありません。問い合わせは黄色のTシャツを着た「おやじ」まで。

町の美化一人ひとりの自覚から

